



ふるさと 水戸

「あい」のある学校・地域 つながれ水戸っ子



子どもの願いを実現するために

～感染症対策にご協力を！～

校長 中尾 功

10都道府県に出されている緊急事態宣言が6月20日までとなりました。全国的には新規感染者は減少傾向にありますが、滋賀県では、横ばいの状況が続いています。

そんな状況ではありますが、**本校は、6月17日、18日の修学旅行を予定どおり実施します。**実施の決定については、以下のように、子どもや保護者の皆さまの思いを聞かせていただきながら検討してきました。

① 保護者説明会の実施

5月18日(火)

- ・修学旅行の行程について・・・本校のみの活動が多く、ほとんど他の団体との接触がない。
- ・感染症対策について・・・日常の学校生活以上に感染症対策に力を入れている。
- ・今後の予定について・・・キャンセル料が発生するまでに判断したい。
- ・意向確認書提出のお願い

② 意向確認書の集計

- ・大多数のかたから、「予定どおりの実施を希望する」との回答をいただく。

③ 保護者代表との協議 (PTA 4役および学級委員 計8名)

- ・意向確認書の集計結果の確認
- ・滋賀県および三重県の感染状況についての確認
- ・業者とのキャンセル料等の交渉結果について
- ・協議のうえの決定事項

この場合、キャンセル料は発生しない。

修学旅行は予定どおり実施する。

今後急な感染拡大等の状況が生まれた場合は、1週間前までにキャンセルする。

保護者の皆さまには、意向確認書の提出をお願いする際に、「子どもとじっくり話してご回答ください」と申しあげました。意向確認書のなかには「親子で意見が分かれた」と書いていただいていたかたもおられ、**子どもの思いをよく聞いたうえで回答していただけたこと**に感謝するとともに、修学旅行が子どもたちにとって、とても大切な行事なのだと、改めて認識しました。

子どもたちの願いを受けての決定です。実施に向けて準備を進めていきます。しかし、急な感染拡大が見られた場合は、直前に延期にします。全国的な傾向は大きく変わらないかもしれませんが、校区内をはじめとする近隣の地域の感染状況はこれからの私たちの生活に左右されます。

子どもたちが小学校生活最高の思い出をつくれるよう、学校、家庭、地域が一体となった感染症対策にご協力をお願いします。

そして、無事に修学旅行を終えた後に、「**私たちの願いの実現のために多くのかたが協力してください、最高の思い出ができた。**」と、子どもたちが思えるようにしたいです。

ほんぶくろ かつよう 本袋を活用しよう ~読書活動を推進するために~

ほんねん どほんこう まな ちからこうじょうさく ひと どくしょかつどう すいしん かか とりくみ どくしょ
 本年度も本校の学ぶ力向上策の一つに「読書活動の推進」を掲げています。取組のポイントは、読書
 の量と質の向上です。

「読書の量」は学校図書^{どくしょりょう}の貸し出し冊数^{がっこうとしょ か だ さっすう しひょう}を指標^{しひょう}にしています。

(4月の図書^{がつとしょ}の貸し出し冊数^{か しし さいすう}は、一昨年^{いっさくねん}の2.1倍^{ばい}になりました。)

「読書の質」は物語^{ものがたり}や説明文^{せつめいぶん}を読みきる力^{よみきるちから}をつけることを目指^{めざ}しています。本校^{ほんこう}の児童^{じどう}の実態^{じつたい}として、長文^{ちやうぶん}を見ただけ^{みただけ}で読書^{どくしょ}に対する意欲^{いよく}が低下^{ていか}する児童^{じどう}が多いです。図鑑^{ずかん}などで調べる活動^{かつどう}とともに最後まで本^{ほん}を読み切る活動^{かつどう}に取り組ませたいです。



ほんぶくろ 本袋にマイブックがいっぱい

そのためには、読書の時間^{どくしょじかん}ごとに本^{ほん}を選ぶのでなく、読み続ける本^{よみつづけるほん}を自分の近く^{じぶんちか}においておく必要^{ひつよう}があります。しかし、机^{つくえ}の引きだしは教科書^{きょうかしょ}などでいっぱいだし、ロッカー^{ろっかー}に置くと毎回^{まいかい}取りに行かなければなりません。

そこで、低学年^{ていがくねん}では、マイブック^{まいぶくろ}を入れるための本袋^{ほんぶくろ}を机^{つくえ}の横^{よこ}にかけて、いつでも自分が読^よんでいる本^{ほん}を取り出せるようにしています。この取組^{とりくみ}を高学年^{こうがくねん}でも広めていきたいと考えていますので、本袋^{ほんぶくろ}を学校^{がっこう}へ持っていきようお声かけください。

ぜんたいじゅう きさき 全体重を支えてくれる靴は
 じぶん 自分^{じぶん}のからだの一部^{いちぶ}だね。

いのちを大切に 物を大切に

しょうこうぐちまえ なら ねんせい うえきばち なか あさがお ば
 昇降口前^{しょうこうぐちまえ}に並べ^{なら}てある1年生^{ねんせい}の植木鉢^{うえきばち}の中で、朝顔^{あさがお}のふたば^ばが場所^{ばしょ}取りをするかのように勢^{いきお}いよく育^{そだ}っています。3年生^{さんせい}の教室^{きょうしつ}では、モンシロチョウ^{ようちゆう}の幼虫^{ようちゆう}やさなぎがすくすくと育^{そだ}っています。

植物^{しょくぶつ}や生き物^{いきもの}に接^{せつ}するときの子ども^{こども}たちの目^めはとてもやさしく、キラキラと輝^{かがや}いています。み戸^{みど}っ子の素^す晴^{はら}らしい姿^{すがた}です。生き物^{いきもの}と接^{せつ}し、生き物^{いきもの}を育^{そだ}てることを通^{とお}して、「いのちを大切に^{たいせつ}する心^{こころ}」を育^{はぐ}くんでいます。

また、6年生^{ねんせい}の廊下^{ろうか}には「私の靴^{わだし くつ}」をテーマ^{え けいじ}にした絵^えが掲^か示^せされています。そこには、靴^{くつ}に対する子ども^{こども}たちの思い^{おも}も書^かかれています。子ども^{こども}たちは、細^{こま}かいところまでしっかり見^みて絵^えに表^{あらわ}しながら、自分^{じぶん}の靴^{くつ}との思い^{おも}出^でを振り返^{かえ}りました。

子ども^{こども}たちの言葉^{ことば}には、靴^{くつ}への思い^{おも}とともに「物を大切に^{たいせつ}したい」という気持^{きもち}が込^こめられています。

学校の学^{がっこう}習^{がくしゅう}は教科^{きょうか}としての学^{がくしゅう}習^{しゅう}だけで終^おわらず、自^{みずか}らの生活^{せいかつ}とつなぐことでさら^{ゆた}に豊^{あま}かな学^{まな}びとなります。



ことし 今年^{ことし}はプール^{がくしゅう}での学^{じっし}習^{しゅう}を実施^{じっし}します
 すでにお知らせ^しせていますように、今年^{ことし}
 度は、感^{かん}染^{せん}症^{しょう}対^{たい}策^{さく}をしたうえで、水^{みず}遊^{あそ}び・
 水^{すい}泳^{えい}運^{うん}動^{どう}の学^{がくしゅう}習^{しゅう}を実施^{じっし}します。
 プール^{ない}内^{ない}、プールのサ^{みつ}イ^さイド^いの密^{みつ}を避^さけるた
 め、例^{れい}年^{ねん}と違^{ちが}い、ボラ^{ねが}ンティア^あをお願^{ねが}いせ
 ずに実施^{じっし}します。ご了^{りよう}解^{かい}ください。

せいねんねんれいひきさ 成年^{せいねんねんれい}年齢^{ねんれい}引^{ひき}下^さげにつ^ついて
 れいあ ねん がつ から せいねんねんれい が 18 歳^{さい}に引^{ひき}き下^さげられます。
 ほうむしやう とくせつ 法^{ほう}務^む省^{しやう}では、特^{とく}設^{せつ}ウエ^うェ^えブ^ぶサイ^{さい}ト^とを開^{かい}設^{せつ}し周^{しゅう}知^ちを関^{かん}づいていま
 す。下^か記^きのウエ^うェ^えブ^ぶサイ^{さい}ト^とをご活^{かつ}用^{よう}いた^ただき、
 お子^こ様^{さま}とお話^わしいただ^たけるとありがたいです。
 せいねんねんれいひきさ とくせつ 成年^{せいねんねんれい}年齢^{ねんれい}引^{ひき}下^さげ特^{とく}設^{せつ}ウエ^うェ^えブ^ぶサイ^{さい}ト^と
 「大人^{おとな}への道^{みち}しるべ」
<https://seinen.go.jp/>

